

報道発表

平成 25 年 3 月 26 日（火）

午前 11 時 00 分

平成 25 年度

公立大学法人山口県立大学

当初予算 報道発表資料

平成 25 年 3 月 26 日（火）

【お問合せ先】

公立大学法人山口県立大学

経営企画部（担当：渡邊、佐々木）

〒753-8502 山口市桜畠 3 丁目 2 - 1

TEL：083 - 928 - 3417

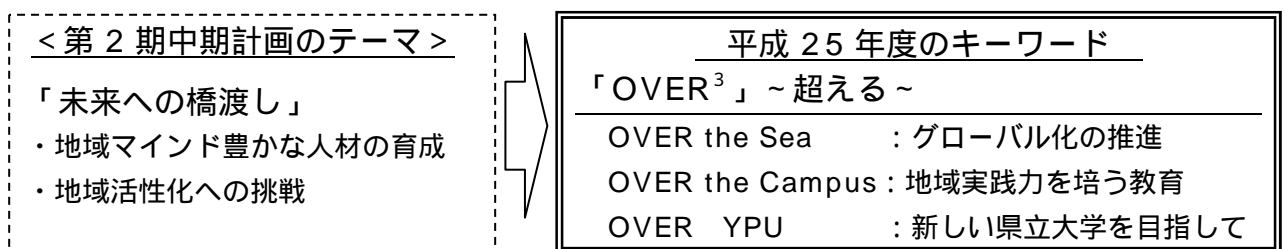
FAX：083 - 928 - 3464

公立大学法人山口県立大学 平成25年度当初予算の概要

予算編成方針

平成25年度は、第2期中期計画期間（平成24～29年度の6年間）の2年目であり、地域貢献型大学として「優れた人材の育成・輩出」「地域における知の拠点」「グローバル化の推進」といった役割を果たすことで地域における存在感を向上させるべく、第2期中期計画の達成に向けた取組を着実に進める年度です。

第1期中期計画期間中の成果を足掛かりとして、さらに発展する新たな県立大学の姿を示すため、「OVER³～超える～」をキーワードに、未来へ向けた新しいチャレンジを一步進めて、第2期中期計画の達成に向けた道筋を構築します。



当初予算の概要

1 予算規模

予算規模は、21億12百万円で、補助事業の採択や退職金の影響により、前年度当初予算（19億28百万円）に比べて183百万円（9.5%）の増となっています。

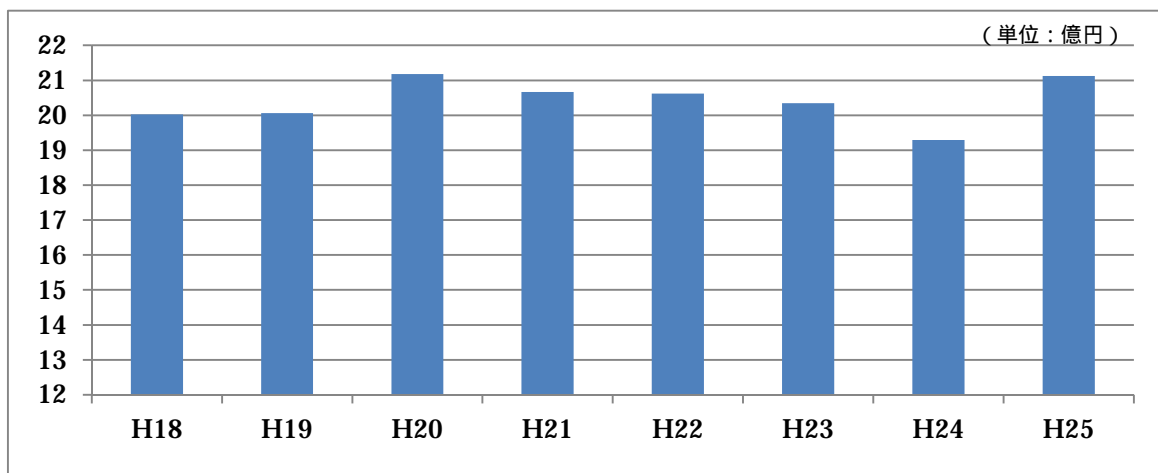
（単位 千円 %）

区 分	平成25年度 A	平成24年度 B	増減額 C = A - B	増減率 D = C / B
収入支出予算	2,112,522	1,928,895	183,627	9.5

【参考 当初予算規模の推移】

（単位 百万円）

H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
2,002	2,006	2,117	2,066	2,061	2,034	1,928	2,112



2 収入予算の状況

運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の91.7%を占めています。

運営費交付金は、県からの交付予定額から、平成24年度から25年度までの措置として法人自ら行う給与の減額分（H25：5,523千円）を控除した額を計上しています。また、定年退職に伴う退職手当分の交付額（H25：107,467千円）を含んでいます。

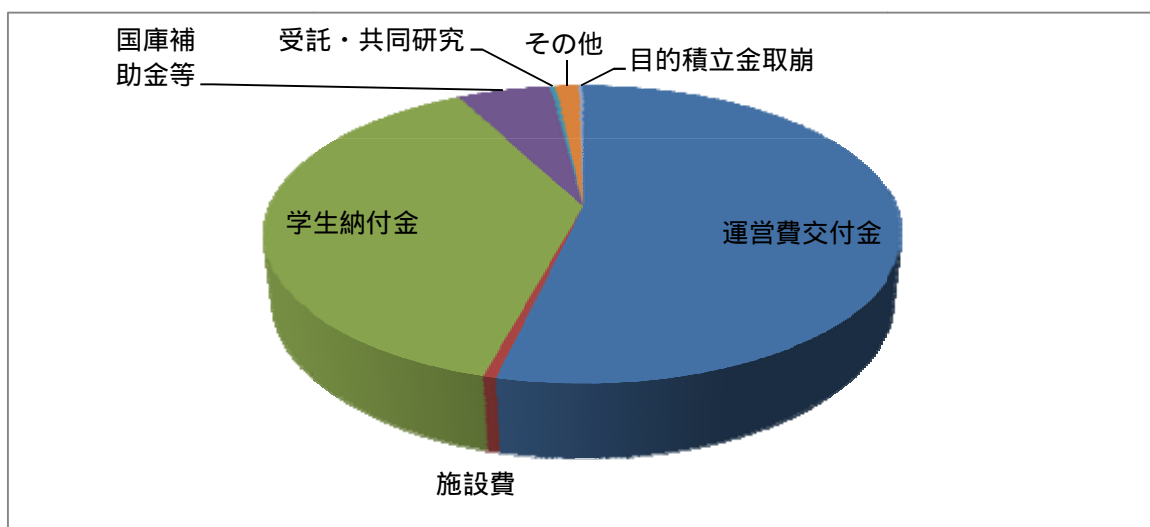
国庫補助金等は、平成24年度に採択された二つの補助事業（グローバル人材育成推進事業、産業界ニーズ対応人材育成事業）により大幅に増加（H24年度の約3.4倍）しています。

受託・共同研究収入は、過去の実績に応じた見積額を計上しています。

第1期中期計画期間（H18～23年度）の積立金（365百万円）の一部を財源として使用するため、積立金取崩収入4,885千円を計上しています。

（単位 千円 %）

区 分	平成25年度 A		平成24年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金	1,133,134	53.6	1,026,309	53.2	106,825	10.4
施設費	11,584	0.6	13,777	0.7	2,193	15.9
学生納付金	804,546	38.1	807,185	41.9	2,639	0.3
国庫補助金等	121,045	5.7	35,506	1.8	85,539	240.9
受託・共同研究収入	7,000	0.3	14,000	0.7	7,000	50.0
その他	30,328	1.5	32,118	1.7	1,790	5.6
積立金取崩収入	4,885	0.2	0	0	4,885	皆増
合 計	2,112,522	100.0	1,928,895	100.0	183,627	9.5



3 支出予算の状況

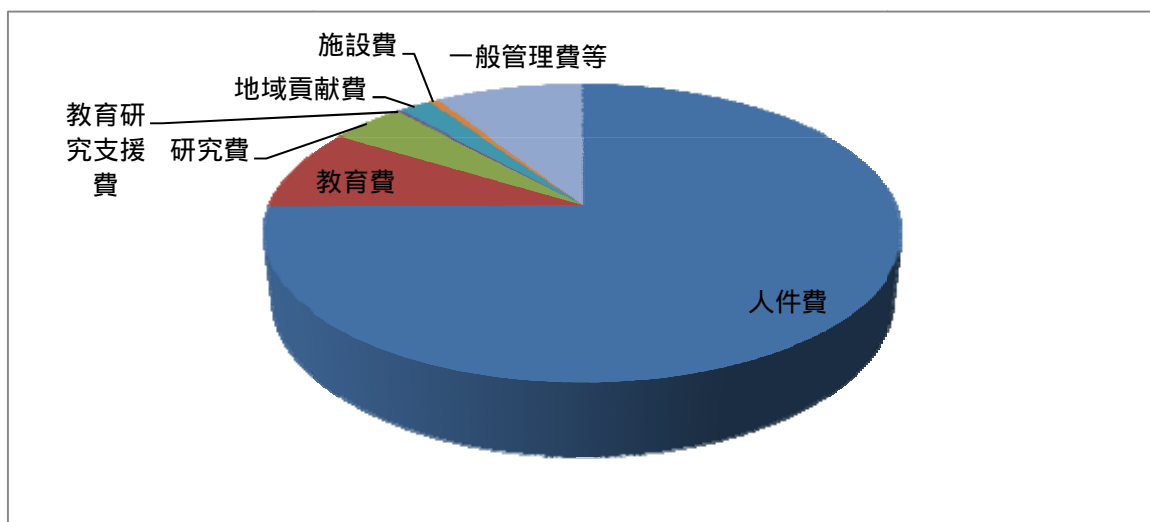
支出総額の74.8%を占める人件費は、文部科学省補助事業の採択に伴う教職員8名の採用及び定年退職に係る退職金の計上等により、前年度に比べ10.5%の増となっています。

教育経費は、文部科学省補助事業の採択等に伴い40百万円（27.1%）増加しています。

一般管理費は、前年度並みの191百万円を計上していますが、入試広報の拡大等により微増（1.8%）となっています。

（単位 千円 %）

区 分	平成25年度 A		平成24年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
人件費	1,580,986	74.8	1,431,290	74.2	149,696	10.5
うち役職員給与費	1,473,519	69.7	1,431,290	74.2	42,229	3.0
うち退職金	107,467	5.1	0.0	0.0	107,467	皆増
教育経費	188,556	8.9	148,307	7.7	40,249	27.1
研究経費	93,170	4.4	93,700	4.9	530	0.6
教育研究支援費	5,100	0.3	5,658	0.3	558	9.9
地域貢献経費	42,043	2.0	48,509	2.5	6,466	13.3
施設費	11,584	0.5	13,777	0.7	2,193	15.9
一般管理費その他	191,083	9.1	187,654	9.7	3,429	1.8
合 計	2,112,522	100.0	1,928,895	100.0	183,627	9.5



主要事項

1 「OVER³」～超える～（平成 25 年度のキーワードに沿った取組）

（1） OVER the Sea グローバル化の推進

グローバル人材育成事業

新規

71,556 千円

地域とグローバル社会との架け橋になる Inter - local 人材を育成するため、国際文化学部の既存のカリキュラムに加え、新たに 4 つの取組を実施します。

「域学共創プログラム」の展開

国内外の地域を巻き込んだ、大学導入から卒業研究まで一貫した留学教育を実施

「4 技能+」総合的外国語運用能力の育成

話す、聞く、書く、読むに、異文化コミュニケーション能力の育成を加えた語学教育

IPD ポイント制度の導入（IPD = initial professional development）

Inter - local 人材が身につけるべき力を明確にして、学習及び留学を動機づけ

「域学連携コンソーシアム」の設立

留学前後を支えるネットワーク（地域住民、産業界、行政、海外協定校等）を創設

日本学生支援機構の留学生交流支援制度（国の重点政策枠）

グローバル人材育成事業に関連して支給される奨学金（200 人月×6～8 万円）を活用して、多くの学生を海外に派遣します。

国際交流の充実

継続

2,412 千円

平成 25 年度は、学術交流協定締結校 3 校との国際交流を行います。

ナバラ州立大学（スペイン）

山口県とナバラ州との友好提携 10 周年記念事業に参加するとともに、ナバラ州立大学を訪問して教員交流、共同研究の新たな展開を図る

ラップランド大学（フィンランド）

4 年目となる教員相互交流（派遣、受入各 1 名）

慶南大学校（韓国）

アジアにおける教員相互交流（派遣、受入各 1 名）の展開（1 年目）

(2) OVER the Campus 地域実践力を培う教育

産業界ニーズ対応人材育成事業

新規

11,792 千円

地域の大学グループ（中四国地区 14 校）が連携して、地域の産業界等と一体となった人材育成や、産業界等のニーズを踏まえた教育の取組を推進します。

協働型インターンシップモデルの開発・試行

地場企業が容易に参加できるインターンシップモデルの構築

協働型キャリア支援プログラムの開発・試行

県内連携校で山口協働会を組織し、効果的な支援体制を構築

キャリア教育の改善

教員 1 名を配置し、キャリアデザイン科目群の改善、FD を実施

学外発表機会の創出

拡充

2,194 千円

文化創造学科における創造的活動や大学院での研究活動を学外で発表し、批評を受ける機会を設けることで、創作活動及び研究能力の育成を図ります。

文化創造学科卒業展

企画プロデュース系の創作作品や日本文化系のパネル展示

クリスマスファッションショー

高校生も参加するコンテストや卒業生・修了生の作品発表も同時開催

大学院学会発表助成

国内 3 万円、国外 6 万円の学会参加旅費を助成

実習教育の充実

拡充

29,267 千円

実習受入機関との連携を強化するとともに、県内実習 100%化に向けた取組を推進するなど実習指導体制を整備し、専門分野における学生の実践力を培います。

社会福祉実習、精神保健福祉実習（社会福祉学部）

看護実習（看護学科）

栄養実習（栄養学科）

別科実習（別科助産専攻）

課外活動を含めた総合的教育の推進

継続

2,334 千円

学生が地域で活躍し、地域の一員になれる気持ち（地域マインド）を醸成するため、授業を補完する地域での課外実践活動を支援します。

コミュニティソーシャルワーカー育成推進事業（社会福祉学部）

地域住民との交流活動やボランティア等を通じて地域福祉実践力を修得

食育系課外活動プロジェクト（栄養学科）

小学生対象の食育プログラムや地産地消メニューの開発等の実践活動

(3) OVER the YPU 新しい県立大学を目指して

大学教育改革

新規(再掲)

83,348 千円

平成 24 年度に採択された 2 件の文部科学省の補助事業を活用して、新たな教育チャレンジを進め、新しい時代と地域のニーズに適う人材の育成を担います。

グローバル人材育成推進事業（再掲）

71,556 千円

産業界のニーズ対応人材育成事業（再掲）

11,792 千円

第二期施設整備計画対応

拡充

1,480 千円

実施に向けて確実な第一歩を歩み出した「山口県立大学第二期施設整備計画」が効果的に推進されるよう、本学として必要な調査検討を進め、平成 25 年度に行われる実施設計に対応します。

先進地視察等

先行事例等を調査し、実施設計に大学としての意向を反映

情報化戦略策定

これからのキャンパスづくりに必要な情報化戦略を検討

大学広報・入試広報

拡充

17,402 千円

一皮むけたデザインや積極的な広報活動により本学の特色をアピールし、志願者や地域に向けて、一層の存在感の向上を図ります。

デザイン性のある PR 展開

本学ならではのグッズを作成、県内でのデザインポスター展開等

オープンキャンパスの充実

送迎バスの運行、学食体験等により、参加者に優しいイベントを開催

2 教育の質向上に向けた取組

(1) 文部科学省大学教育改革事業（GP等） 新規(再掲) 83,348 千円

第1期中期計画期間中に実施した5件のGPの成果を継承するとともに、平成24年度に採択された2件の文部科学省の補助事業を活用して、さらなる教育改革を進めます。

グローバル人材育成推進事業（再掲）	71,556 千円
産業界のニーズ対応人材育成事業（再掲）	11,792 千円

(2) 教育の質保証等に向けた組織的取組 継続 2,067 千円

社会の変革や教育の質保証の要請等に的確に対応するため、「教育研究推進室」が主導して、大学教育の企画立案、教員の能力開発及び研究活動の促進に資する組織的な取組を行います。

教育企画対策

教職員の組織的研修、教育に関する将来展望・戦略策定、文部科学省大学改革等推進補助金新規申請推進 等

研究推進対策

研究推進体制企画立案、文部科学省科学研究費補助金申請推進 等
大学改革フォーラムの開催

(3) 第2期中期計画に沿った教育活動の推進 拡充(再掲) 32,538 千円

中期計画に掲げる各学部等の教育活動のうち、平成25年度に実現可能なものから順次着手し、地域貢献型大学として、地域マインド豊かな人材の育成に努めます。

学外発表機会の創出（再掲）	2,194 千円
実習教育の充実（再掲）	29,267 千円
コミュニティソーシャルワーカー育成推進事業（再掲）	1,077 千円

3 学生支援

(1) 就職対策事業

継続

5,637 千円

厳しさの中にも改善の兆しが見える就職状況に的確に対応し、今後も高い就職率をキープするため、学生の就職活動支援を推進します。

各種就職講座・説明会等

早くから将来の進路の意識づけを行う 1・2 年生向けワークショップをはじめ、学年進行に応じたガイダンス、就職講座等により就活を支援
キャリアカウンセラーの配置

専門分野別個別相談による、個々の学生の希望や適性に応じた指導
インターシップの推進

職業理解を深め、将来の目標や課題を明確にする在学中の職業体験

(2) 学生活動支援

継続

3,259 千円

「学生活動支援センター」が学生の自主的な活動や課外活動全般をサポートし、豊かなキャンパスライフを応援します。

学生スタッフ制度

学内公的活動に有償で携わることで、人間関係力向上と経済支援を両立
YPU ドリームアドベンチャー

魅力的な学生の自主企画に活動費を援助し、夢の実現を支援
ボランティア窓口

地域からの募集情報を集約し、ボランティア参加を後押し

(3) 修学支援

継続

38,846 千円 (収入減)

安心して就学し続けることができるよう、経済面でも支援を行います。

授業料減免制度

人数比 10.5% を授業料収入減として見込む (国立大予算案 = 9.3%)

各種奨学金情報の提供

生活支援グループによる各種奨学金情報の提供、手続の支援

4 地域貢献活動

(1) 生涯学習オープンカレッジ

継続

2,808 千円

区分	開催数
公開講座	5講座
サテライトカレッジ等	10講座(8市町)
公開講演会	4講座
公開授業	10講座
やまぐち桜の森カレッジ	4コース
高校生対象夏季公開講座	3コース
計	36講座等

公開講座	防府市、宇部市、美祢市 姉妹大学交流公開講座(2講座)
サテライト カレッジ等	岩国市玖珂、柳井市、下松市、周南市、山陽小野田市、長門市、阿武町、 山口市(本学)、すこやかライフセミナー、生涯学習ボランティア講座
公開講演会	全学客員教授特別講義、3学部客員教授特別講義
公開授業	地域学、環境問題、医学、生命と生活の質特論、 環境理論特別講義、アフリカ社会・文化論a、現代社会論b、 生涯現役社会論、暮らしの人類学、環境理論特別講義
やまぐち桜の森 カレッジ	国際・文化、人づくり、社会・生活、健康づくり各コース
夏期公開講座	国際文化、社会福祉、看護栄養各コース

(2) 専門職向け研修等

キャリアアップ研修(発達障害)

継続

291 千円

[対 象] 学校教諭等(160名程度)
[内 容] 発達障害の理解と具体的な支援

キャリアアップ研修(ヒューマンケア・チームアプローチ)

新規

274 千円

[対 象] 看護師、社会福祉士、管理栄養士、ケアマネージャー(30名)
[内 容] チーム医療や包括ケアシステムにおける多職種連携・協働

キャリアアップ研修(介護方法)

新規

221 千円

[対 象] 看護師、社会福祉士、介護職員、ケアマネージャー(100名)
[内 容] 要介護者の動かし方、QOLの高いオムツケア

教員免許状更新講習

継続

665 千円

[対 象] 現職教員、教員採用内定者等（必修 190 名、選択 495 名）

[内 容] 「教育の最新事情」、その他選択講習 13 科目

看護教員養成講習会（県委託事業）

継続

12,719 千円

[対 象] 本講習会修了後看護教育に従事する者 30 名

[内 容] 厚生労働省が定める講習科目を標準として 9 ヶ月間実施

感染管理看護体制強化事業（県委託事業）

拡充

11,500 千円

認定看護師フォローアップ研修

県内または本学出身の認定看護師（感染管理）向けフォローアップ研修
感染管理実践研修

認定看護師のいない医療機関における感染管理実践者を育成
感染制御チーム支援事業

医療機関にアドバイザー（認定看護師）を派遣し実践活動を支援

感染管理認定看護師養成課程の再開

新規

524 千円

入学生募集、入試の実施

平成 26 年度に教育課程を再開（前回は H21～23 年度に実施）

(3) 中山間地域元気創出支援事業（県委託事業）

拡充

14,478 千円

中山間地域における多様な課題や地域ニーズに対応するため、「やまぐち中山間地域づくりサポートセンター」が地域の自主的・主体的な取組の促進を支援します。

中山間地域若者活動支援

県内の大学等の学生が自発的に取り組む活動提案を募集し、助成
アドバイザー派遣業務

専門的知見を有するアドバイザーを選定・登録し、各地域に派遣
コーディネーター派遣業務（新規）

地域課題の解決に最適なコーディネーターを選定し、各地域に派遣